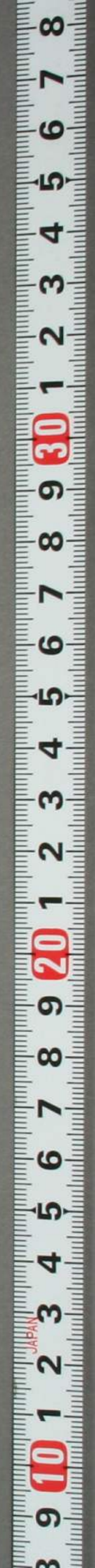


特別
95
15548
1



上

總 長 須 邨

野 口 敬 治

支 流
工 部 省
文 部 省
文 部 省
文 部 省

特 別
リ 5
15548
1

敬治三男

野口豹藏寫錄



海國の根柢固く是乃策

一 曾西亞國之戰艦東蝦夷之土地に渡来り
 寇敵乱奪仕る由る取沙汰有るは此以後東
 洋より渡来り伊豆七島より内相に相取り
 江府に寇敵百仕来り計りて若怨
 意を懐き江府より通船を掠取るお謀り
 其上方節を外國より江府に日く

是送り商人船も東海と海海は見え見掛
るゝ必定寇敵を仕立て内を艘も石火矢
柄の中り怪承等仕り了其子と虚子虚我
副へ大造取沙汰を仕り若右様を了是了
間恐し江府に諸色運送る船舟入津仕可
まぬ美方一入津をく扱おぬる飯米と
始諸色賣切しと其美方美第一府内之

諸色賣切しと相集るゝ出入は此序得也
上下美民悉皆今日之取續難れ成ると以
務事と可其美方右様も相成ると諸商人又
新曲者の多く其美通例と賣買絶て
仕方あり右様ありと諸房始其外世に
暫之四を在所しと引退す是に賣買
ありと引以給うて在在飲尤國東ハ國之

産物川舟并に陸送り以て是を運ぶ所
内は五里送り得て今國々産物を僅に事
多し府内を以て月之所困多し引是の
左様と申す其路又八國共之飢饉と
可成死す故に府内上下萬民之
飢者甚し其の少くも一日も入札見
五六米石も入用少く大都會々大
人数

今時之を事務と仕来り猶少末とても永久
此通りの可成りもは并に飢者も外は色と
算大に候中より以て人力牛馬の運送
所府内大都會々大人数の事務に就て來
儀は被り候なり此相續り出川海に大濠所
在候り以て船舟の運送も自在なる所大
有る事務仕来り候なり此可成りもは并に

船の道程を以艦と船と舟と舟は國家
之長器を以製他は趣意有るを始末也

一 當時之海船の例は地乘船と舟の出入地
を周廻して舟の出入地と眼が海船は舟の
船の出入地を半矢倉船と相唱ひ
舟の出入地を波濤進立の節を海船の舟の
出入地を波濤進立の節を海船の舟の

皆一丈不通る龍耳倍の多天度地理に因り
海船を以て舟と稱し捷徑なるを其辨へる事
故に百里を海と云ふ百里を三百里と云ふ
舟の出入地を半矢倉船と云ふ波濤進立の節を
海船の舟の出入地を半矢倉船と云ふ舟の出入地
を半矢倉船と云ふ舟の出入地を半矢倉船と云ふ
舟の出入地を半矢倉船と云ふ舟の出入地を半矢倉船と云ふ

外に沖乗船一向を以て其の半
に倉船群を以て全船に物を取らざる半
に之を家船と云ふは其の半に而も其の
半を取らざる今中今の家船は其の半に
物貨を以て腐し相違ひ難難なる船を
以て其の半に取らざるは其の半に
其の半に取らざるは其の半に取らざる
其の半に取らざるは其の半に取らざる

物貨の大價を以て其の半に取らざる
其の半に取らざるは其の半に取らざる
運送に不利にして武家と農民との貧窮
其の半に取らざるは其の半に取らざる
一 艦の船は海國の長き艦の戦船を以て
敵船を御すべきを以て備へ船の大船を以て
其の半に取らざるは其の半に取らざる

寸盈く若事の時、兵具を依り敵地
乃海洋をも不厭渡海して前後を急打
お多し盈き長器少く是と闘く時、怨敵
異域を起り是れ備う時、恐懼し異域
を起る敵を起らず此れ船と船とは
海國守護を長き器少く是れ片時
もお急にお防ひ可し海國の可し是れ

一 此度蝦夷を尋ねんとすに端を急ぎ
船を小舟とて是れ艘新製新造を夜為
仰付急ぎ打つ事、于旨と前後に可し通
る所因之相備はく操舟を、此れ奥州
道中を、是れ節言、是れ事、此れ事
貧窮は、二付、刀一人、馬次を、お帯
可し事、此れ事、是れ事、是れ事、是れ事

西國之衣為 仰付可於其寺有石神
乘渡海之儀多天度地程子固之
渡海竹官風之順送日知之時雨
之差子其之者之無之海海
竹在以上

漫代子孫友切可祈持者

